

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年 6月30日

宇都宮市長 佐藤 栄一 殿

提出者
住 所 栃木県宇都宮市平出工業団地5番地3

氏 名 栃木明治牛乳株式会社

代表取締役 尾野田 聰

電話番号 028-661-4431

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	栃木明治牛乳株式会社
事業場の所在地	栃木県宇都宮市平出工業団地5番地3
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	食料品製造業（処理牛乳・乳飲料製造業 0913）
②事業の規模	売上げ額： 54億円/年
③従業員数	120名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・排水汚泥 → 脱水 → 混合発酵 → 肥料化 ・廃乳 → 発酵 → 飼料化 ・廃プラスチック → 焼却 → 熱回収利用 ・安定型混合 → 破碎 → 埋立処分

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙1【廃棄物処理に係る管理体制】のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1参照	
	排出量	別紙2-1参照 t	t
	(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・排水処理施設の運転管理方法を見直した。 ・生産工程でのロス低減を図った。 			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1参照	
	排出量	別紙2-1参照 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き工程異常を発生させないよう設備の保守・改善及び従業員の教育を徹底し、工程異常による原材料等の廃棄量を低減する。 			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	<ul style="list-style-type: none"> ・工程毎に発生した廃棄物はそれぞれの職場で分別し、ゴミ分別場に運搬し適正に保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	<ul style="list-style-type: none"> ・社内ルールに則り適正な分別がされているか、監視・指導の徹底を都度図る。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-2参照	
①現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	別紙2-2参照 t	t
(これまでに実施した取組)			
・特に実施していない。			
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-2参照	
②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	別紙2-2参照 t	t
(今後実施する予定の取組)			
・実施予定なし。			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-3参照	
①現状	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	別紙2-3参照 t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量			t
(これまでに実施した取組)			
・排水汚泥、多重円盤式脱水機の運転条件の見直し。			
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-3参照	
②計画	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	別紙2-3参照 t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量			t
(今後実施する予定の取組)			
・排水汚泥に関しては、脱水機の性能を維持するよう保守点検の徹底を図る。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3-1参照	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	別紙3-1参照	t t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3-1参照	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	別紙3-1参照	t t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3-2参照	
	全処理委託量	別紙3-2参照	t t
	優良認定処理業者 への処理委託量	別紙3-2参照	t t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙3-2参照	t t
	認定熱回収業者 への処理委託量	別紙3-2参照	t t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	別紙3-2参照	t t
(これまでに実施した取組) ・処理内容を確認し、処理業者と適正な委託契約を締結している。 ・電子マニフェストによるデータ管理をしている。			

【目標】	
	産業廃棄物の種類 別紙3-2参照
	全処理委託量 別紙3-2参照
	優良認定処理業者への処理委託量 別紙3-2参照
	再生利用業者への処理委託量 別紙3-2参照
	認定熱回収業者への処理委託量 別紙3-2参照
②計画	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 別紙3-2参照 (今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・委託先処理業者には定期的に現地確認を実施する。 ・再生利用、熱回収が可能である廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へ処理委託する。
※事務処理欄	

【 廃棄物処理に係る管理体制 】

統括責任者	栃木明治牛乳株式会社 代表取締役社長
廃棄物担当	設備環境課メンバー
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の維持、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で、必要な事項を検討する。 ・委員長－社長 ・委員－常務、本部長、部長、課長 ・事務局－設備環境課長
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物処理計画の策定 ○工場の廃棄物管理規定の策定・改廃 ○廃棄物処理に関する検討に関する各種事項の決定、承認
設備環境課長	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○委託契約の締結 ○マニフェストの交付・管理 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する教育・啓発 ○その他、関係する事項
< 廃棄物管理組織 >	
<pre> graph TD President[社長] --- Committee[環境管理委員] President --- ResponsiblePerson[環境管理責任者] ResponsiblePerson --- Office[事務局] ResponsiblePerson --- ProductionGeneral[生産本部] ResponsiblePerson --- ManagementGeneral[管理本部] ProductionGeneral --- Production1[生産部] ProductionGeneral --- Production2[生産部] ProductionGeneral --- EquipmentEnvironment[設備環境課] ManagementGeneral --- QA[品質保証部] QA --- QASub[品質保証課] QA --- ProductionManagement[生産管理課] QA --- OfficeSub[総務係] </pre>	

別紙2－1 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度（令和6年度）実績】				
①現状	産業廃棄物の種類	排水汚泥	廃プラスチック	安定型混合	廃乳
	排 出 量	2,032 t	29 t	5 t	14 t
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	排水汚泥	廃プラスチック	安定型混合	廃乳
	排 出 量	2,000 t	27 t	5 t	13 t

別紙2－2 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

	【前年度（令和6年度）実績】				
①現状	産業廃棄物の種類	排水汚泥	廃プラスチック	安定型混合	廃乳
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	排水汚泥	廃プラスチック	安定型混合	廃乳
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	0 t	0 t	0 t	0 t

別紙2－3 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

	【前年度（令和6年度）実績】				
①現状	産業廃棄物の種類	排水汚泥	廃プラスチック	安定型混合	廃乳
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	1,829 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	排水汚泥	廃プラスチック	安定型混合	廃乳
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	1,800 t	0 t	0 t	0 t

別紙3－1 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	排水汚泥	廃プラスチック	安定型混合	廃乳
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	排水汚泥	廃プラスチック	安定型混合	廃乳
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t

別紙3－2 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	排水汚泥	廃プラスチック	安定型混合	廃乳
	全処理委託量	206 t	29 t	5 t	14 t
	優良認定処理業者への処理委託量	206 t	27 t	0 t	14 t
	再生利用業者への処理委託量	206 t	0 t	0 t	14 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	29 t	0 t	0 t
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	排水汚泥	廃プラスチック	安定型混合	廃乳
	全処理委託量	203 t	27 t	5 t	13 t
	優良認定処理業者への処理委託量	203 t	25 t	0 t	13 t
	再生利用業者への処理委託量	203 t	0 t	0 t	13 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	27 t	0 t	0 t